



# 第 101 回院内コンサート



日時 : 2024年3月16日(土) 13時30分~

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪ 演奏者プロフィール

ヴァイオリン : あらい 荒井 あやの 章乃さん

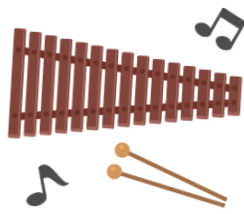


桐朋学園大学卒業。かながわ音楽コンクールにて最優秀賞及び神奈川新聞社社長賞、全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位、大阪国際室内楽コンクールピアノトリオ部門第3位受賞。霧島国際音楽祭にて特別奨励賞及び優秀演奏賞、霧島国際音楽祭受賞。これまでに神奈川フィルハーモニー管弦楽団、チェコフィルハーモニー室内管弦楽団等国内外のオーケストラと共演。現在、ソロ・室内楽・オーケストラの客演首席奏者等幅広い演奏活動を行う。桐朋学園大学付属音楽教室講師。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。

にしくぼ マリンバ : 西久保 ともひろ 友広さん

東京音楽大学を経て、東京音楽大学大学院修士課程修了。第10回KOBEL国際学生音楽コンクールにおいて最優秀賞及び兵庫県教育委員会賞受賞。第10回JILA音楽コンクール打楽器部門において第1位受賞。第22回日本管打楽器コンクールにおいて第2位受賞。第10回神戸新聞文化財団松方ホール音楽賞大賞受賞。現在読売日本交響楽団打楽器奏者。ユーフォニアム奏者外園祥一郎氏とのデュオCD「日本のうた」 「プレリュード」(レコード芸術準特選盤)リリース。玉川大学、昭和音楽大学、東京音楽大学で後進の指導にあたる。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。





## ♪ プログラム ♪



### アストル・ピアソラ作曲 : Bordel 1900～タンゴの歴史より

タイトルの“Bordel”(ボーデル)は、元々娼婦の家という意味ですが日本では“酒場”と意識されることが多いようです。音楽は優美さと活気に溢れ、フランス、イタリア、スペイン出身の売春婦たちが、彼女たちに会いに来る警官、泥棒、水夫、ろくでなしたちを誘惑してからかう様子を描いています。冒頭のフレーズには、警官が摘発する笛が表現されていると言われています。

### マスカーニ作曲 : 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」の舞台は、イタリア南部のシチリア島。島で実際に起きた、2組の男女の恋愛の悲劇がモデルになっているといわれています。嫉妬や不倫、復しゅうなどもつれた男女関係が描かれた、いわば、ゴシップ記事に出てくるような内容ですが、間奏曲の安らかな旋律は、その後起こる決闘や死別など悲劇の結末を際立たせてくれます。

### アストル・ピアソラ作曲 : Nightclub 1960～タンゴの歴史より

1960年代、国際的な人の交流が大変な勢いで増加していくと、タンゴもブラジルとアルゼンチンがブエノスアイレスで巡り合うことによって、ボサノヴァと新タンゴが同じリズムを刻むようになり、大幅な変革の時を迎えます。そして、古くからのリズムから脱却した新しいタンゴの誕生を聴きに、聴衆はナイトクラブに殺到しました。この時期は、タンゴの革命の時期であったともいえます。こうして、もともとのタンゴから現代タンゴは大きく変わっていったのです。

### デイヴィッド・ジョーンズ作曲 : リーガル・ハイ

- I. Mr. Coffee
- II. Menthology
- III. Sweet Thing



1988年のマリモリン作曲コンクールで第1位を獲得した作品です。このコンクールはシャラン・リヴァンサル(vn)とナンシー・ゼルトツマン(mar)が1985年に結成したマリモリンというデュオグループが、ヴァイオリンとマリンバのための作品を募集したもので、この編成の決して多いとはいえないオリジナル作品の一つとなっています。「Mr.Coffee」「Menthology」「Sweet Thing」というユニークなタイトルのついた3つの楽章から構成されています。

次回、第102回院内コンサートは2024年4月20日(土)13時30分～

なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。